

平成九年度

医療セミナー日程

九月二十四日から十一月五日

(毎水曜日・全七回)

時間 十三時半より十五時半  
場所 合同庁舎 大会議室



第一回講演 テーマ・講師

- ・子供をとりまく現状について 大崎 逸郎 医師
- ・子供のアレルギーのはなし 寺道 由晃 医師

第二回講演

- 夫婦で聞こう 堀内満水雄 医師
- ・男の更年期? 平井 昭典 医師
- ・女の更年期

第三回講演

- ・知っておきたい薬の知識 櫻木 達夫 薬剤師
- ・海外から入ってくる怖い病気を防ぐために 大利 昌久 医師

第四回講演

- ・血圧と血液・脳卒中と心臓病を防ぐために 山田 純一 医師
- ・基本検診から何がわかるか 渥美 久 医師

やっかいな食中毒  
O-157感染症

やっかいな食中毒「O-157感染症」は、今年も発生しています。

昨年は学校給食による集団発生があり大きな社会問題となりましたが、今年も発生しています。

神奈川県では、百三十二件にO-157が確認され死亡者が二名でています。

強い感染力

O-157は一般には毒性の少

第五回講演

- ・ぼけなんか怖くない 飯塚 美知子 保健婦
- ・いつまでも健康で楽しく暮らすために

第六回講演

- ・かかりつけ医をもとう 岡部 伸彌 医師
- ・肺の病気(肺がん) 佐藤 文彦 医師

第七回講演

- ・糖尿病を楽しもう 奥津 紀一 医師
- ・糖尿病でも外食を楽しもう 家永 紀子 管理栄養士



まじった下痢となります。

成人では一般に症状が軽いようです。ひどくなると腎臓の働きが低下し、脳の障害を起こし死亡することがあります。

こどもや高齢者で、体の調子が悪い人が重症になっています。

予防できるか?

少量の菌でも感染するので予防はたいへんむずかしいことです。手洗いを良くする、水の汚染に気をつける、食品を加熱するなど、主な対策となりますが、なま物を多く食べる夏など予防がむずかしいこととなります。

血便が出たらすぐに

診療を受けましょう。

下痢が起こったときには、良く注意して、下痢に血が混じるようになったらすぐ、医師の診療を受けて下さい。ほとんどの人はO-157感染症でも大したことにはなりません。お年寄りや、乳幼児では特に注意が必要です。

血便が出たら注意

O-157が体の中に入ると約半数の人が四〜八日で激しい腹痛と下痢が起こり、まもなく血液の



O-157は口から入ります。



①食物や飲み物を置いてO-157が口から体内に入る。

②肉類や卵などに重大なダメージを与え、死に至る場合もある。

③大腸でO-157が繁殖。「ベロ毒素」を作り、腸の粘膜を破壊する。

④ベロ毒素が血液の流れにのり、赤血球や血小板を破壊しながら全身を回る。

☆受付けからのお願い  
月初めには必ず保険証を受付けにお出し下さい。診察券は毎回お持ち下さい。



9月・10月の休診日

(日曜・祭日  
水曜・土曜・第一火曜午後)

9月19日(金) 午後

10月24日(金)

～10月26日(日)